

## 2010年度 坂上チーム口頭発表

### ① 招待講演 (国内 0件、国際 0件)

〈国内〉 該当なし

〈国際〉 該当なし

### ② 口頭講演 (国内 5件、国際 1件)

〈国内〉

1. 荒井迅, 「トポロジーと計算機科学による力学系の大域計算理論への挑戦」, 本物理学会第66回年次大会, 新潟大学, 2011年3月26日(震災で物理学会は中止になったものの、発表は成立とみなす事になりました)
2. 石原 卓, 後藤 崇, 金田行雄, “乱流混合層 DNS を用いた乱流/非乱流界面近傍の渦構造の条件付き統計の解析” 平成 22 年度共同利用研究集会「乱流現象及び非平衡系の多様性と普遍性」, 九州大学応用力学研究所, 2010年11月12日
3. 岡本直也, 芳松克則, K. Schneider, M. Farge, 金田行雄, “3次元非圧縮性一様等方乱流における, ウェーブレット解析に基づく情報縮約”, 平成 22 年度共同利用研究集会「乱流現象及び非平衡系の多様性と普遍性」, 九州大学応用力学研究所, 2010年11月13日
4. 森下 浩二, 石原 卓, 金田 行雄, “高レイノルズ数チャネル乱流の局所等方性の DNS による検証”, 第 24 回数値流体力学シンポジウム, 慶應義塾大学日吉キャンパス, 2010年12月22日
5. 川原康弘, 芳松克則, 岡本直也, “ウェーブレット解析に基づく電磁流体乱流の秩序構造シミュレーション”, 第 24 回数値流体力学シンポジウム, 慶應義塾大学日吉キャンパス, 2010年12月20日

〈国際〉

1. Koji Morishita, “Local-isotropy in Direct Numerical Simulation of Turbulent Channel Flow at High-Reynolds Number”, 2011 SIAM Conference on Computational Science and Engineering, Reno, Nevada, 2011/02/28

### ③ ポスター発表 (国内 0件、国際 0件)

〈国内〉 該当なし

〈国際〉 該当なし